

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Youth Empowerment

2024年
5月



2023-24 年度 クラブテーマ「地域と繋がるう・地域に知らせよう」



① 5月の夜談会。話に夢中でまた写真を忘れる。浦和駅前で親切な人が撮ってくれる。② 第2回アジア太平洋地域オンライン「音楽の夕」参加者が思い出の歌を披露。③ 関東東部評議会は東京Y東陽町センターで。年度報告と次年度の準備。会議は肅々、二次会も祝々。④ 堀和メン、震災4ヶ月の輪島へ。被災者に支援金を届ける。2頁の氏の報告と写真を参照されたし。(浅羽 記)

今月の聖句

「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。わたしが律法や預言を廃棄するために来たと思っはなりません。廃棄するためではなく成就するために来たのです。」

(マタイ伝5章16-17)

6月「Y180」例会



日時：6月15日(土) 14時～16時
会場：市民活動サポートセンター（浦和パルコ9階）
プログラム：工夫と信念で前進するために

6月 夜談会

日時：6月10日(月) 午後6時～8時
会場：サイゼリア（浦和駅東口）

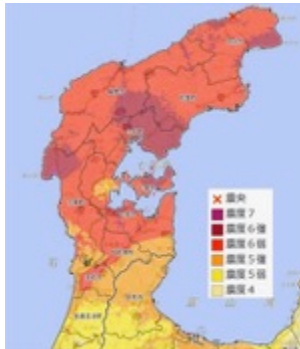
・気楽に知り合い見識を深める拓けた大人の会

◆ 地震4ヶ月後の輪島を訪れる

堀和（はが）光二郎メン



本年1月1日に能登半島地方を襲った大地震に対し、自分に何かできることはないかを探していました。避難所のボランティアは受け入れ先がわからず、トイレや水道もまだ当分整わないという状況でした。自分にできることは毎年行なっている広島に千羽鶴を届ける活動くらいしかないので、一羽折って1000円をいただくという活動を始めました。1000円ずつ1000羽集まれば100万円だ、と思って始めましたが思うように集まらず、もう集まただけで現地に行くしかないと決心しワイズメンに相談しました。さすがにYMCAは全国組織でいろいろな情報を集めていただきました。



最初は2泊で能登半島を全部回ってやろうと思いましたが、行く当てもないので1泊にしました。それでも朝一番で新幹線で行き、レンタカーを借りれば翌日もかなり回れることがわかりました。

出発前日の5月3日早朝に浅羽会長から電話をいただきました。お見送りがしたいのだと。既に大宮駅に来ているようで、丁重にお断りしました。日にちがそもそも違うし・・・。

午前中に金沢に到着、駅前のレンタカーを契約し、ナビに今晚泊まるホテルを入



れ、市内不案内のところ到着し、先に届いている千羽鶴を受け取り、いざ輪島朝市跡を目指して出発、下の道はどうなっているのかわからないので高速道路を使うことにしました。



1時間走ってパーキングで一服、日本海のきれいな景色がありました。周りの車を見てもたぶん観光の車がほとんどで工事の車は見当たりませんでした。さらに進んで来ると様子がだんだん変わってきました。一車線になって道が蛇行し始め、隣の登り車線が崩れて無くなっている場所が何カ所もあります。これは帰りが厄介だと思いつつ高速を下りると、地震で壊れた家々があります。さらに市内に入るとお店が壊れて道路にはみ出したままになっています。（一応片付けてあります。）

そして道路標識が輪島朝市左折とでたのですが、遠回りで真っ直ぐ走って行くと、まさにニュースで観たあの光景がありました。後は写真で見ていただいた通りの状況で、私は車を下り、千羽鶴を持って真ん中の通路を通り、枯れた花が飾ってある数か所に千羽鶴を供え、オカリナで「ふるさと」を吹かせてもらいました。何故か人はほとんどおらず、ボランティアも見えませんでした。



私は仮設住宅用に集めたカレンダーの届け先を探すために車に戻りました。そこでYMCAと書かれた作業服の方たちに会い、嬉しくて声を掛けました。そこで本拠地をここから1時間の中学校に置いていることを聞きました。その後は社協を訪れカレンダーを渡し、市役所に行き観光課の方に輪島朝市の組合に渡していただくよう支援金7万円をお渡しすることができました。

その後のことを書くには紙数が足りませんのでこの辺にさせていただきますが、輪島朝市との御縁は今後なにか発展があるのでしょうか？



◆ YMCA って募金運動？

浅羽 俊一郎メン

「YMCA は何かと言うと募金募金と言って、寄付金を募ろうとする…」これは元東京 YMCA 総主事、東京山手クラブメンバーであった故星野達雄氏の「生きた Y と募金 — 止むに止まれぬ行為へ」という一文の出だしだ。以下間引いて引用する。



…「何のために」が最も重要である。… 募金は YMCA の活きるバロメーターといわれる。募金をしなくてもすむ YMCA があるとすれば、その YMCA は既存の事業収入によって、何とか収支償っているから、うまくいっていると人はいうのであろう。…そこに安住することをもってよしとなれば、自ずとキリスト教青年会としての情熱は失われ、YMCA の目的使命から逸脱することになる。募金は活動してやまない生きた YMCA が、世のため人のため止むに止まれず行わざるを得ない情熱の発露である。「YMCA は建物ではない。建物を建てるある力である」と言われる所以もそこにある。… 特記すべきことは、それらの募金は経常会計に入れることなく、常に新たな拡張のためにのみ用いることを方針としたことである。… 社会還元を志向しつつある企業は、それ故に YMCA に期待する。… 募金活動ほど YMCA を PR するにいいチャンスはない。募金は楽しいものである。(以上)

市民活動や社会運動などは推進者たちが信頼できるか、ニーズがあるか、活動に魅力や実績があるかが気になる。募金は分かりやすいバロメーターだ。最近クラウドファンディングが募金ツールとして知名度を上げている。目標額を一定期間内に集めたい団体とその関係者は寄付者数と達成額から社会の評価を知ることになる。私が支援するある団体が大幅な経営改革を掲げて900万円のクラウドファンディングに挑戦した。だが期限まで2週間というのに200万円が不足。会員宛に緊急アピールを発信したら期限内に1000万円超の寄付が集まった。バロメーターとはこのことだ。

さて YMCA は「募金運動？」への私の考えは「寄付運動！」だ。募金は寄付意識を覚醒し、運動を活性化する起爆剤だ。でも募金を唱えても、マンネリなキャンペーンだったり PR 戦略が欠けていると、会員・関係者は「おつきあいで」となり、「PR するチャンス」にはなれない。恒例化した募金はその最たる例であろう。

星野氏の一文は1980年3月の東京 YMCA 職員報に収録されている。氏は当時賛助会を担当されてい

たと記憶している。職員が事業的マインドセットにハマるのを危惧していたのかもしれない。思うに YMCA が他団体や企業と同じ土俵では勝負していないことを世間に PR する一丁目一番地が募金だ。大切なことは募金の主体が応答する寄付側ということだ。寄付の貰いっ放しはしっぺ返しを食らうことになる。

そういう意味で「募金と寄付」は「問いかけと応答」であり、さらに寄付側は募金結果を問いかけ、受益側は成果で応答することになる。その過程が「止むに止まれず」続くことで寄付は運動になりうる。まるで左右交互にペダルを踏んで前進する自転車のように。最後にリンカーン大統領の言葉を引用したい。

「ある人を説得するための準備段階で三分の一の時間は自分のこと・自分が伝えたことを考えるが、三分の二の時間は相手のこと・相手が何を言うか考える。」❖

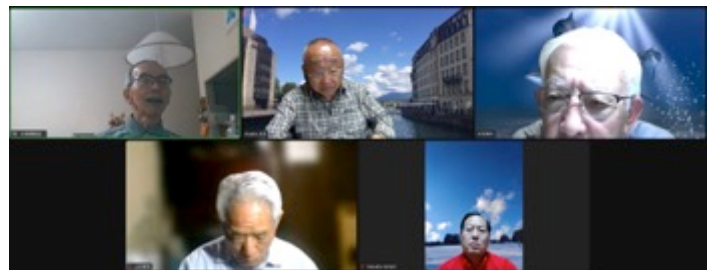
活動メモ

◆ 5 月夜談会

今月 13 日晩に浦和サイゼリアで開催。前週に輪島の朝市の支援に行っていた堀和メンは長年ボランティアを続けてきた彼のやさしい目線で直に見たこと感じたことを伝えてくれた。報告にもあったが YMCA スタッフにも会うことができよかった。今後も何らかの支援を続けたいものだ。(浅羽記)

* 駅前での集合写真は皆の笑顔が素敵なので1頁に大きく掲載させてもらった。(編集メン注)

◆ 5 月例会



今月は諸氏の事情で26日(日)夜、ズームで開催。久しぶりに無題のおしゃべり会では衣笠メンの面白く分かりやすい昆虫の話が聞いた。多くの子が小学校高学年で一時的に夢中になる昆虫採集が、氏の場合は飽かずに続けられた由。彼が昆虫名を言うと我々はネットで見つけて画面共有できた。ズーム操作の勉強にもなった。各自の発言が字幕になることを上松メンが指摘。ズームだと各自どこからでも入れるが背景写真と居場所は別。出席：浅羽、上松、衣笠、古谷、水無瀬。(浅羽 記)

◆ 関東東部 第3回評議会



今月 18 日に東京 YMCA 東陽町センターで開催。クラブ活動や部の事業の報告に続いて、次期会長研修会では次期部長の山本剛史郎メン（川越クラブ）がユース支援中でもワークキャンプ推進を方針とする旨説明があった。ご自身の青春時代に参加したフィリピン・ワークキャンプの感動がそのまま YMCA・ワイズにつながるきっかけだったとの話はよかった。今期で茨城と東京べいサイドの2クラブが解散する。本当にお疲れ様でした。また会える日を楽しみにしています。全体写真は 1 頁に掲載。（浅羽記）



仲間からののお便り



◆ 今月の俳句 堀和光二郎メン（俳号 愚道）

能登半島の報告を書かせていただきましたが、当然俳句でも表現したくなります。俳句では吟行というそうですが、そこに行かれていない方に 17 文字でわかっていただくのは難しいです。下手をすると説明句になってしまいます。さてどうなるでしょう。

① 汗滲む輪島朝市跡むなし

現地立って何ともいえない虚しさを表現するのはむずかしいですね。

② 五百羅漢地震に耐えて苔の花

翌日富山の友人を訪ねて五百羅漢を案内してもらいました。やはり地震はひどかったそうです。苔の花は夏の季語になります。

◆ 浅羽メン



東京 YMCA 職員だった時分高田馬場の山手ブランドの同僚が YMCA 退職後選んだのは牧師の道。神学

大学を卒業し、伝道師を経て、今月都内幡ヶ谷の日本キリスト教団城西教会の牧師に就任。就任式にはかつての同僚やワイズも応援に馳せ参じた。因みに前任牧師は飯島隆輔元ワイズメン。

今後の主な予定



- ◆ 第 27 回東日本区大会（終了）
6月1日(土)～2日(日) @ 十勝プラザとホテル日航ノースランド帯広
- ◆ ワイワイ歌声広場
6月9日(日)14:00～16:30
東京 YMCA 東陽町センター
- ◆ 小関京子ワイズを偲ぶ会
6月9日(日)14:00～16:00 @ 所沢 YMCA
- ◆ 心のふるさと歌声集会・草津の旅
6月24日～25日 @ 草津 中沢ビレッジ
- ◆ 講演会「幸せなら手を叩こう 誕生物語」
講師 木村利人氏
6月22日(土)14:00～16:30 @ 所沢 YMCA
- ◆ 国際大会
8月8日～11日 @ タイ・チェンマイ市

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
月例会 (5/26)	4	3	-
夜談会 (5/13)	5	5	-

編集後記: はがメンの輪島報告ありがとうございました。それにしても5月号を6月に発行することになってしまい申し訳ありませんでした。単に編集子の計画性欠如と不精と開き直りの成せるワザ。原点に帰って今後はベテランの上松メンに相談しながらメンバーを巻き込んでブリテン作りに勤めます。「今時のユース」などの企画も再開したいです。6月号の月内発行頑張ります。

ワイズメンズクラブ 紹介とメンバー募集

ワイズメンズクラブ国際協会 (Y's Men International) は世界最大の青少年団体 YMCA を支援する社会人・成人の奉仕クラブの集まりであり、若者の自立と生き生きとした地域作りを旨とする国際団体です。政治信条・性別・肩書きや年齢差に関係なく国内外の交流も進めています。日本では 1929 年に大阪で最初のクラブが設立。埼玉クラブは浦和区を拠点に活動しています。ボランティア活動、国際協力、青少年育成、人と繋がることに関心があり、責任感のある方は年齢・性別に関係なく募集しています。例会日の見学もできます。宗教団体などではありません。

詳細は埼玉クラブ会長 浅羽まで。(090-7426-5553) または Y's Men International 東日本区の下記 URL をご参照ください。

<https://ys-east.or.jp/#gsc.tab=0>